

事業報告書

第1 事業結果の概要と運営状況

令和4年度は81名のスタートとなった。新型コロナウイルスは、園児32名、職員13名が罹患した。新型コロナウイルスの大流行と自粛要請が要因となり、近隣との交流が完全に遮断された。育児困難な家庭や未就園児との関係の構築が希薄となり、1・2歳児の園児の確保が難しく定員割れが最大の課題となった。しかし、ホームページの活用、育児、食育、保健だよりを近隣の未就園児に送付、そして、感染状況に配慮しながら、行事に積極的に招待し、本園を知っていただく取り組みをした結果、年度の途中は、0歳児は6名定員中8名、幼児も含め、13名の園児を増員する。在園児の行事に関しては、厚生労働省から行事内容の制限や簡素化を求められたが、後期の感染者の減少を見計らい、園児や保護者様の念願だった保育参加や発表会を3年ぶりに再開出来たことは、特に年長児にとって最高の思い出となった。

1 保育の方針

3年毎に実施している東京都福祉サービス第三者評価を受審した結果、保護者様から満足度の高い結果を得られていることを確認出来た。様々な評価を分析し今後の保育サービス、教育の資質向上に繋げたい。特に、高評価を得られた「園児の心身の発達を助長する活動が充実している」「職員の子どもへの対応が良い」「子どもがくつろげる雰囲気」は職員の努力の賜物である。0歳児から2歳児は養護・応答的に接し家庭的な雰囲気を主体に、3歳児から5歳児は縦割り保育を軸に立案し、思いやりや向上心を育てた。5歳児は保育所保育指針にある通り、就学前保育を積極的に実践した。

2 財政の健全化

コロナ禍における職員の労働の処遇を改善する臨時特例手当が支給され、労を労うことが出来た。しかし、ゆとりある豊かな保育運営のためには、認可基準を上回る保育士の確保は必要不可欠である。職員の年次休暇は法律基準と、それを上回る日数を取得出来たが、保育士の計画的な年次休暇取得率アップも必須である。そして、職員の育児休暇制度も更に充実させ、復帰後も育児と仕事の両立を図り保育士の定着率を更に上げたい。また、4年度は社労士業務を委託したことで、適正な労務管理を実現し、透明性の高い人事管理を実現した。

3 職員の資質の向上

研修会は積極的に促しているが、職員は自主的に参加し保育の資質向上に努めた。復命書の記載内容から「学んだことを実践に繋げたい」「子どもたちのために更に前進したい」など保育への実践が望まれる。また、コロナのため延期となっていた講師を本園に招く園内研修会も実現。職員全員が拝聴しディスカッションも兼ね楽しく充実した時間を過ごすことが出来た。また、夜開催していた定例職員会議は、長時間に渡る過重労働を危惧し昼の午睡中に行うことで、職員の健康管理にも配慮した。園長と職員の面談や日常のコミュニケーションから、職員の様々な考えを引き出せ、それらが良い執務環境を構築出来るので、各保育室を巡回し、傾聴・情報共有の継続は必要である。また、職員が提出する「自己啓発シート」は、自らスキルアップを目指す熱意が感じられ、職務態度への感謝とともに、職員の自己肯定感を一層維持させたい。

4 地域社会との交流

子どもの心を育む保育の一環として実施してきた高齢者施設訪問は、コロナ感染防止のため、4年度も断念した。子どもの思いやりを育て、高齢者にとって励みとなっていたこの交流は、コロナの状況を考慮し再開したいと思っている。未就園児を観劇会、移動動物園、夏祭り、消防自動車体験、クリスマス会に招待し多数の来園者をお迎え出来た。開催後は育児相談を行い母親の育児不安を取り除く貴重な時間となった。澄んだ秋空の下、園児の祖父母の所有するみかん畑で、年長児はみかん狩りを体験したり、近隣の商店街に調理保育の材料の買い出しに行き社会教育が出来た。また、2月に入り、就学体験として近隣の小学校へ行き、校舎内を見学したり、教師や小学生との交流会を通して就学への期待感に繋がった。

5 安全対策

「保育士による園児の虐待」「置き去り」など心痛む事件が発生し、マスコミでも多く取り上げられた。それが要因で保育士が保育に不安感を抱いたり過敏になることも事実で、園長、主任はその緊張を解し、メンタル保持に努めた。行政からの「安全対策支援事業」の助成金を活用し、睡眠中の呼吸異常を知らせる「ベビーセンス」「見守りカメラ9台」を早急に設置した。従来設置してある8台のカメラに加えて事務所から17台のカメラが安全を見守り、録画していることから、より一層の安全対策が出来ていると思うが、機械に依存せず、常に園児の人数確認は滞りなく実践したい。

6 園庭整備等整備

令和4年度は記載事項なし。

7 苦情処理

一般的な苦情相談には意見箱のほか、子育て情報を保育園から発信したり、保護者を通した相談のほか、直接事務室で対応するなど解決に努めた。

8 延長保育

延長保育は午後6時から午後7時の1時間として実施した。

第2 法人関係

1 理事・監事の定数とその構成 (別紙のとおり)

2 役員の任期

2021年6月定時評議員会から2023年6月定時評議員会まで

3 役員会会議実績

単位:円

月	会 議 内 容	支 出 額
5	● 決算監査	21,000
6	* 理事会 ● 議 事 令和3年度事業報告の認定について 定時評議員会開催日程について 社会福祉法人青梅福祉会職員の期末、勤勉手当の支給率について ○ 報告事項 運動会日程変更について 利用者アンケートについて 法人監査について	報酬 49,000
6	* 定時評議員会 ● 議 事 事業報告書の認定について ○ 報告事項 職員の期末勤勉手当の支給率について 運動会日程変更について	報酬 70,000

月	会 議 内 容	支 出 額
12	<p>* 理事会</p> <p>● 議 案</p> <p>令和4年度第1次収支補正予算(施設拠点区分)について 社会福祉法人青梅福祉会職員期末勤勉手当の支給について 社会福祉法人青梅福祉会職員役員改選について 社会福祉法人青梅福祉会育児介護休業に関する規程の 一部改正について 社会福祉法人青梅福祉会経理規程に関する一部改正について</p> <p>○ 報告事項</p> <p>利用者アンケート報告 青梅市指導検査について</p>	報酬 49,000
3	<p>* 理事会</p> <p>● 議 案</p> <p>令和4年度第1次収支補正予算(法人本部拠点区分)について 令和4年度第2次収支補正予算について(施設拠点区分)について 令和5年度事業計画について 令和5年度収支予算(法人本部拠点区分について) 令和5年度収支予算(施設拠点区分について) 社会福祉法人青梅福祉会役員改選状況について</p> <p>○ 報告事項</p> <p>令和5年度新入園児の募集状況について 青梅市指導検査実施報告 処遇改善・キャリアアップ手当支給について</p>	報酬 49,000

4 役員研修実績

月	研修内容	派遣者	支出額	
			会費	旅費
10	* 理事長会管外施設研修 中止		0	0
11	* 法人役員リモート	板橋	0	0

5 定款・規則等の制定・改廃の状況

(1) 規則等

6月

なし

12月

社会福祉法人青梅福祉会育児・介護休業に関する規程の一部改正について
社会福祉法人青梅福祉会経理規程に関する一部改正について

3月

なし

6 許認可申請および内容変更申請等

なし

7 施設整備の状況

(1) 園舎の増改築・補修工事等

p15・p16を参照

(2) 固定資産物品購入状況

すべり台（乳児用）	289,960円
シエスタBeBeスマート	260,000円
見守りカメラ設置	1,738,000円

8 その他の事項

なし

(4) 給食実施

ア 給食時の指導状況

年齢区分	指 導 方 針
0歳児	子どもの月齢及び発育状態に応じて、離乳食を開始し、離乳食が進むにつれて発育に対応できるような献立にしていく。 個別に保育士に介添えをしてもらいながらコップやスプーンを持って自分で食べようとする気持ちを大切に作る。
1歳児	食前に手を拭いてもらい椅子に座る。色々な味、食材を経験し味覚を発達させる。フォークやスプーンを使い、保育士の介添えが少なくなるよう最後まで落ちついて食べることを身につける。 食後に麦茶を飲み、口内の衛生に心掛ける。
2歳児	食前に手を洗い食後は口を拭く、手を拭く。給食を食べる楽しさを知らせ、好き嫌いを無くすよう指導する。 フォークやスプーンで食事をし、上手に使えるようにする。
3歳児	給食前の手洗いを習慣づける。 はっきりした好き嫌いが出てきているが、少しずつ食べられるよう声掛けをしていく。後半は、自分達で配膳する。
4歳児	自分達で配膳し、嫌いな物でも、少しずつ食べられるよう声掛けをしていく。食事のマナーを身につけ、友だちと楽しく食べるとともに、こぼしたものの後始末や片付けができるよう指導していく。
5歳児	給食前の手洗い、給食後を習慣づける。 自分たちで配膳し、こぼしたものの後始末や片付けが出来るよう指導していく。 学校給食に向けて、決まった時間内に食べられるようにする。

イ 給食の内容

栄養のバランスに留意し、身体の発育をはかる。

(ア) 献立表を作成し、栄養量の適切さをはかる。

(イ) 米食は週3回、粉食は週3回とする。

(ウ) 副食、おやつ等は、手製を主とする。

(エ) 肉などに偏らず魚類を取り入れる。

(オ) 野菜を多く使い、食物繊維の摂取に努める。

(カ) 海藻類を取り入れ、乳製品以外からもカルシウムの摂取をはかる。

ウ 衛生管理について

伝染病、食中毒の発生源にならないよう、調理室に於いて次の点に留意する。

- (ア) 食器は洗浄し、消毒庫で保管し、一般炊具も清潔に保管する。
- (イ) 鼠、ハエ等の潜入を防止し、常に清掃し、清潔に保つ。
- (ウ) 調理に当たるものは、衣服、身体を清潔にして従事する。
- (エ) 細菌検査を毎月実施する。
- (オ) 2週間の食材、検食の保管
- (カ) 冷蔵庫は、定期的に掃除し、温度管理がされている。
- (キ) 調理は、給食時間に合わせて調理している。

(5) 保 育

ア 保育方針

- 健康なからだをつくる
- 自然の中でのびのびあそぶ
- 豊かな心、協調性を養う

イ 年間行事実施状況

単位：円

月	行 事 実 施 状 況	支 出 額
4	入園式・進級式 (平常保育) 春の健康診断 (乳幼児全員) 年額	5,000 460,000
5	緊急時引き渡し訓練 中止 乳児組個人面談 中止 移動動物園	0 0 154,000
6	老人のグループホーム訪問 中止 歯科検診 フラワーアレンジメント 夏祭り 園児と職員にて実施	50,000 14,000 47,615
7	プー ル 中止	0
9	敬老会	10,800
10	運 動 会 秋の健康診断 ハロウィン 保育参加	74,266 上記に記載 1,833 0
11	シルエット劇場 (5歳児) お弁当遠足 (御岳山 他)	57,900 62,076

単位；円

月	行 事 実 施 状 況	支 出 額
12	クリスマス会 フラワーアレンジメント 餅つき 発表会	91,470 16,000 2,600 0
1	新年のつどい 思い出遠足	79,000 119,890
3	卒 園 式	73,540
毎 月	乳児健診 毎月第2木曜日 春・秋定期健診含 誕 生 会 (誕生日に各クラスごとに行う) 音楽リズム指導 年 11回 体操指導 年 11回 避難訓練、身体測定	年額 460,000 プレゼント35,610 年額 399,300 年額 556,600 0

(6) 安全管理

ア 設備・運営について

非常災害に備えて、消火器、三角バケツを廊下等に備え、非常口の確保、消防計画にもとづく避難、消火、通報訓練を行い、有事に備えた。

(ア) 構築物の維持管理

(イ) 消防用設備等の点検整備及び定期検査

(ウ) 火気設備の整備・点検

(エ) 毎月実施する防災訓練

(オ) 遊具、机、椅子、玩具類の点検、整備

(カ) ダムウェーターの管理 隔月に点検

イ 東京都の補助事業により設置した、非常通報装置「学校110番」の維持管理(業者による点検)を行う。

ウ 門扉の機械化により園児・職員の安全管理に配慮。

エ 玄関ドアのヒンジ修理により園児・職員の送迎時の安全に配慮。

(7) その他の事項

園舎機械警備 セコム株式会社に委託

3 施設整備状況

(1) 園舎施設整備工事

今年度記載工事なし

(2) 補修工事等の状況

ダイキン空調機器修理	46,541 円
厨房トイレつまり修理	18,150 円
4輪乳母車修理代 (避難車)	20,240 円
ダイキン空調室外機 (圧縮機交換修理)	462,000 円
2階子ども用トイレつまり修理	11,550 円
厨房シンク水栓修理	8,250 円
避難車タイヤ交換	13,200 円
厨房トイレつまり修理	18,150 円
厨房水栓パイプ交換・污水管つまり修理 他	46,530 円

(3) 備品購入一覧

単位：円

使用目的	購入品目	単価	数量	支出額
環境用品	門の自動本締錠	10,450	1	10,450
	給食展示用BOX	99,000	1	99,000
	遮光ネット (3m×5m)	16,500	3	49,500
	多目的セーフティフェンス	43,120	1	43,120
保育用品 (家具)	テーブル2×3 (幼児組) 8台	21,780	8	174,240
	テーブル2×3 (幼児組) 3台	21,780	3	65,340
	テーブル2×3 (幼児組) 9台	21,778	9	196,002
	テーブル2×3 (3歳児) 9台	21,778	9	196,002
防災用品	避難用2人抱きキャリーベスト	21,560	1	21,560
デジタル・OA機器	デジカメ代	26,000	1	26,000
家電	石油ファンヒーター 木造9畳	11,800	1	11,800
	ホットカーペット (こあら組) 3畳用	19,800	1	19,800
	1F用洗濯機	86,000	1	86,000

* 固定資産物品はP4参照

4 災害対策

(1) 避難訓練実施状況

月	訓練の種類別	月	訓練の種類別
4	避難訓練（新入園児の基礎訓練） 園庭避難し、消火訓練等園児に説明	10	地震発生を想定、総合訓練を実施 同時に避難・消火訓練（園庭に避難）
5	警戒宣言発令想定で地震発生による 消火、避難、保護者の迎え訓練中止	11	消防署立会い、防災教育 消火訓練、消防車体験（園庭にて）
6	避難訓練、消火訓練（保育園裏手 から出火、園庭に避難）	12	避難訓練、消火訓練、通報訓練 （園庭に避難）
7	避難訓練、消火訓練（園庭に避難後 第2避難所へ避難）	1	避難訓練、消火訓練（地震発生を想 定、防災頭巾を着用、園庭に避難）
8	避難訓練、消火訓練（地震発生を想 定、防災頭巾を着用、園庭に避難）	2	避難、消火訓練（正門から避難で きない場合を想定、裏門から避難）
9	避難訓練、消火訓練、通報訓練 （園庭に避難）	3	避難、消火、通報訓練（時間を指定 せず園庭に避難）

(2) 防災設備等の保守点検状況

消防署査察 なし

自主点検（機能・外観検査各1回） 業者委託

消防署へ年1回（6月）届出 2回検査（6月7日・12月5日）契約料金 16,500円×2

(3) 非常用備蓄食品購入状況

非常食 購入なし

5 保護者との関係

(1) 園に対する理解と協力の状況

ア 入園のしおり

イ 園だより、リーダーだより、クラスだより、献立表、給食だよりを毎月発行、
園ホームページの周知、園ぴゅう太、保健だより、週間おたより

ウ 保護者の参加は新型コロナウイルス感染予防のため運動会と卒園式のみ実施

6 地域社会との関係

単位：円

月	交流内容	支出額	月	交流内容	支出額
5	移動動物園	154,000	11	シルエット劇場	57,900
6	老人施設訪問（園児手作）	中止	1	新年の集い	79,000
	夏祭り	47,615	2	交通安全教室	中止
9	敬老会	10,800		老人施設2か所訪問	中止
10	運動会	74,266	計	5回	423,581

* 園庭開放（4月から）午前10時30分から午後2時30分まで

* 子育てニュースの配布 平成19年6月から毎月1回地元自治会

7 延長保育利用者数 (4月～3月)

単位：人

月	利用者	延人員	平均	月	利用者	延人員	平均	月	利用者	延人員	平均
4	# 10	30	3	8	11	34	3	12	10	30	3
5	# 7	21	3	9	16	43	3	1	13	39	3
6	# 14	31	2	10	11	28	3	2	14	43	3
7	# 11	25	2	11	14	36	3	3	20	60	3

年間利用者 37人 *短時間保育含

延長保育は1時間延長の午後7時まで

第4 添付書類(別紙)

理事・監事・評議員の名簿

施設台帳の写

保育の年間指導計画書振り返り